

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市青年文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人仙台市市民文化事業団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 346,855人(前年度比113.1%) 令和4年度 306,775人(前年度比371.7%) 令和3年度 82,539人 ※大規模改修のため令和3年9月30日まで休館	
	《事業》 施設の管理運営に加え、様々なパフォーマンスを通じて垣根を越えた交流を楽しむ「パフォーマンスフェスティバル」等、青年文化センター活性化事業を行っている。また、指定管理者の事業部門と連携し、音楽、演劇、ダンス等の公演及び普及啓発事業を主催している。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 354,148千円 (360,071千円) ・ その他市が負担した費用 15,282千円 (11,438千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 102,486千円 (120,816千円) ・ その他収入 15,019千円 (14,586千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 「利用者アンケート」の実施(令和5年12月) ・ 施設利用者に利用案内用紙を配布し満足度を調査・対応(通年) ・ 「意見箱」に寄せられた意見・要望等に対する回答を掲示(通年)	

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設運営上の基本方針について、職員全体会議等で日頃から職員間で共有しているほか、受付窓口やホームページにより利用者への周知を行っている。 その他、ホームページの充実や施設の活性化に資する事業の実施など利用者増加のための取り組みの継続、地域と連携した事業実施による青少年の活動支援、文化活動団体への情報発信支援などを通じて、施設目的の達成に向けて適切に運営している。	27/27
II 施設の運営管理体制	仕様書や事業計画書の内容に沿った適切な人員配置、指定管理料の執行がなされており、概ね良好である。個人情報を取り扱う際に必要な対策を講じているとともに、職員の意識向上を図る取り組みも行っている。職員と各委託業者がそれぞれ施設の点検を行い事故防止に努めており、過去の事故内容等の記録も事務室内で保管・共有されている。また、防災訓練を定期的に行うなど災害等発生時の対応体制が確立されており、適切な運営管理体制が敷かれている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	利用者が施設を快適に利用できるよう、定期的な清掃や外構の植栽管理などを通じて衛生管理、美観維持に取り組んでいる。また、日頃から施設・設備の確認を行い、発見された不具合等は迅速に対応している。 備品については、設置場所や保存状態等を網羅したデータベースを作成するなど、適切に管理されている。	24/24
IV サービスの質の向上	「接遇に関する対応マニュアル」が職場内で共有されており、職員のマナー向上のための取り組みが適切になされているとともに、職員の質の向上のための教育が強化されている。年1回実施している利用者アンケートのほか、意見箱の設置や施設利用者からの状況報告を通じて利用者の意見を伺い、可能なものから迅速に対応している。また、利用促進のための取組みとして、様々な媒体を活用した情報発信を不断に行う中で、ホームページをスマートフォンやタブレット端末への表示に対応することで、利用者の利便性が上がったほか、視覚や聴覚に障害のある利用者への「合理的配慮」に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	施設の休館日を活用して修繕を実施するなど、利用者の利便性向上を図る取り組みを継続して行っている。また、使用許可に係る事務や再委託業務の手続き等について、協定書や仕様書に基づき概ね適切に行われている。地下2階駐車場から補助を求める際のインターホンを、車いす利用者も利用しやすい位置へ移設することで、合理的配慮の提供につながったことを評価したい。 コロナ禍で中断していた施設外周を寄せ植えで華やかに彩る「フラワー大作戦」の再開や、エントランスホールでの「七夕飾り」展示などの新しい取り組みを旭丘小学校の児童や地域の方々との協働で実施するなど市民に親しまれる施設づくりに取り組まれている。	34/31

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市市民文化事業団）による自己評価》
<p>施設運営上の基本方針は職員会議やグループウェア等により共有し、個人情報保護や各種法令等を遵守しながら、協定書等に基づき適切な業務執行に努めた。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、ホールの利用制限も大幅に緩和されたこともあり、施設運営の負担は軽減したが、再流行等に備え、仙台市と連携を図りながら、不断の点検実施により施設の安全利用に取り組んだ。近隣施設の改修工事に伴う休館により、新規利用者の拡大など、引き続き例年ない利用実態があるとともに利用者も増加の傾向となった。利用者アンケート結果では継続して高い評価が得られた。設備の改修や不具合修繕については、サービスに影響が出ないように、仙台市との連絡を密に行い、円滑に対処することができた。</p> <p>事業では、館の魅力を高める「第3回パフォーマンスフェスティバル」を、公募による市民参加ステージの会場を増やすなど内容の充実を図りながら、他課との協働により継続して取り組んだ。夏休み期間中には、小学生の親子を対象にした「ホール見学会」をシアターホールで実施し、ホールの魅力を伝えることができた。地域連携事業では、コロナ禍で中断していた施設外周を寄せ植えて華やかに彩る「フラワー大作戦」の再開や、エントランスホールの「七夕飾り」展示などの新しい取り組みを、旭丘小学校の子どもたちや地域の方々と協働で実施し、参加者や来館者からの好評を得た。財団所蔵の書籍文庫の継続設置や2回目となる館保管レコードと仙台の文化を紐づけた展示事業では、文化情報に触れる機会や交流の場の提供により、劇場法にうたわれている「新しい広場」として引き続き館の機能を高めた。楽都事業の拠点として、仙台クラシックフェスティバルのチケット販売や当日運営協力を行ったほか、館を拠点としている仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力し、エントランスホールに楽団50周年記念のコーナーを設置した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>職員全体会議や訓練等による職員間の情報共有及び啓発に努めており、事故や災害を含めた様々な事象に対応できる体制が構築されている。また、施設の維持管理について、利用者が施設を快適かつ安心・安全に利用できるよう、衛生管理、美観維持が徹底されているとともに、施設内の不具合対応などが迅速かつ適正に行われている。サービスの質を向上させる取り組みとして、接遇に関するマニュアルが職員間で共有され、適切に活かされている。令和2年度及び令和3年度については、コロナ禍による影響や、令和2年10月5日から令和3年9月30日まで実施した大規模改修工事により、施設が休館となり利用実績は例年に比べ極端に減少したが、令和5年度については、市内他施設の休館等により新規利用者が拡大し、コロナ禍前に迫る利用実績となった。</p> <p>施設利用者アンケートにおける「総合的な満足度」の項目で「とても満足」「満足」の回答の合計が全体の7割を超えており、日頃からの適切な対応及びサービス向上に向けた取り組みを行っている成果であると認められる。</p> <p>事業企画や運営においては、施設の特性を最大限に活用した大規模な自主事業の実施や、「楽都」を代表する音楽イベントである仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルなどの運営支援及び「楽都」のシンボルである仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめとした音楽団体の活動支援など、施設の魅力を存分に活用し、本市の文化振興に大いに貢献したと認められる。</p> <p>全体を通じて特に、施設ホームページの改修や利用者からの意見に基づいた施設設備の改善など、施設のサービス向上等に積極的に取り組まれたこと及び児童や地域の方々と協働での取り組みを実施し、幅広い年代の市民から親しまれる施設づくりに取り組まれたことを評価する。</p> <p>以上より、令和5年度における当該指定管理者の青年文化センター管理運営業務については、概ね良好であったものと評価する。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):文化観光局文化スポーツ部文化振興課